

## ワークシート「仮説・研究計画のための情報収集」

課題研究・探究活動は、正解があらかじめ準備されていない課題に対して解を見出そうと取り組む学習活動である。自分で仮説を設定したり、研究計画を立てたりするには、十分な情報を得ておくことが必要である。仮説設定や研究計画策定に至るまで、動機を明確にする段階、知識を準備する段階、研究の方針や方法を明確にする段階の3段階に分ける。以下の例を参考にして、情報を収集して整理しよう。

	知りたい情報	適する情報源の例	具体的な調べる方法の例、留意点	
▽	動機を明確にする段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が何に気になるか</li> <li>・自分が何に不思議だと感じるか</li> <li>・疑問に感じること</li> <li>・不便または不都合だと思うこと</li> <li>・どんな問題が存在するか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人（校内外の人、課題研究に取り組んだ先輩）</li> <li>・実物、現場</li> <li>・ニュース、新聞記事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と話すことで、自分にとって何が気になり不思議だと感じるかに気づく。</li> <li>・実物に触れたり、現場で見聞きしたりすることで、疑問を感じる。または、不便・不都合だと思う。</li> <li>・ニュースや新聞を介して、自分が今まで知らなかった問題があることに気づく。</li> </ul> <p>* これらの情報から研究の意義を見出すにはノートに記録して整理することが有効。</p>
▽	知識を準備する段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が明らかにしたいことについての一般的な知識や理論</li> <li>・まとまりのある知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・教養新書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が明らかにしたいことに関連する単元を、各教科・科目の教科書を使って自分で学習し、知識や理論を身に付ける。</li> <li>・「岩波新書」、「中公新書」、「講談社現代新書」、「ブルーバックス」等の教養新書を読んで、まとまりのある知識を身に付ける。</li> </ul> <p>* この段階での Web 検索は、系統立って情報収集することが難しい。結果、大量の無秩序な情報によって方針が定まらなくなる。</p>
▽	研究の方針や方法を明確にする段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の対象とする事物や現象についての用語の定義</li> <li>・実験や検証のための具体的方法</li> <li>・研究の対象とする事物や現象について、既知の部分と未知の部分の区別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文</li> <li>・報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の図書館等で学術雑誌を閲覧する。</li> <li>・「J-Stage」、「CiNii」、「Google Scholar」等の Web の論文検索データベースで、関連する論文や報告書を検索して閲覧する。</li> <li>・検索したい語句と一緒に「filetype:pdf」と入力するとPDFだけが検索される。また、語句と一緒に「site:ac.jp」または「site:go.jp」と入力すると、それぞれ大学のHP、政府機関のHPだけが検索される。</li> </ul> <p>* 論文や報告書には研究の方針や方法を明確にするために有益な情報が記載されている。これらの情報は専門的であり量も多いため、ノートに記録して整理することが有効。</p>

仮説の設定、研究計画の策定

年 組 号 氏名	年 月 日 ( )
----------	-----------